

両日とも開催!

◆ブース展示

出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。生き物をモチーフとした作品の販売ブースもあります。

◆ワークショップ

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡の展示・販売

ケンコー、コーワ、スワロフスキー、ベルボンなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

講習会・体験講座

当日受付：予約不要

18日
土

叶内拓哉とバードウォッチング

野鳥写真家の叶内拓哉氏を講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

11月18日(土) 10:30~11:30 / 参加費：無料(ただし植物園入園料が必要) / 定員：先着50名 / 講師：叶内拓哉氏(野鳥写真家) / 集合場所：長居植物園内 / 主催：興和オプトロニクス株式会社



18日・19日
土 日

谷口高司鳥絵工房『谷口高司のたまご式鳥絵塾』

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

参加費：1,000円(画材代) / 定員：各回先着30名 / 集合場所：博物館玄関前ポーチ / 主催：谷口高司鳥絵工房 / その他：画材の持ち込み不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可。小学3年生以上であれば受講できますが、講座は対象年齢に合わせた内容で実施します。

[小学6~3年生：シマエナガ]
・11月18日(土) 14:30~15:30
[小学6~3年生：シマエナガ]
・11月19日(日) 11:00~12:00
[大人~中学生：ルリビタキ]
・11月19日(日) 13:00~14:00
[大人~中学生：モズ]
・11月19日(日) 14:30~15:30



19日
日

はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだあまり経験のない方も大歓迎です。

11月19日(日) 10:30~12:00 / 参加費：無料(ただし植物園入園料が必要) / 定員：各回先着40名 / 集合場所：長居植物園内 / 主催：日本野鳥の会大阪支部



長居公園の生きものを探そう

長居公園で、植物の観察や昆虫などの生きもの探しをしてみましょう。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

11月18日(土)・19日(日) 11:00~12:00、14:00~15:00 / 参加費：無料 / 定員：各回先着30名 / 集合場所：博物館玄関前ポーチ / 主催：大阪市立自然史博物館友の会

講演会・シンポジウム

当日受付：予約不要 / 参加費：無料 / 会場：自然史博物館 講堂 / 定員：先着170名
(いずれのプログラムもYouTube 大阪市立自然史博物館チャンネルでライブ配信いたします)

18日
土

講演会 群れを作る鳥たち

野鳥写真家の叶内拓哉氏を講師に迎え、鳥が群れになるのはなぜなのか? 撮影者にとって群れの写真の魅力は? といった話を聞くことができます。

11月18日(土) 13:30~14:30 / 講師：叶内拓哉氏(野鳥写真家) / 主催：興和オプトロニクス株式会社

講演会 深海にもぐってわかった 深海生物の生きざま

ヒトからみたら極限環境にある深海。摩訶不思議な姿かたちをした生物が暮らしていると思いませんか。この講演では、「しんかい6500」や深海ロボットで解き明かしてきた深海生物の本当の摩訶不思議さにせまります。

11月18日(土) 15:00~16:30 / 講師：藤倉克則氏(海洋研究開発機構 JAMSTEC) / 主催：関西自然保護機構



19日
日

シンポジウム OSAKAベイエリアに、いのち輝く自然を取り戻すために

生物多様性のポテンシャルの高い夢洲を中心に、大阪でネイチャーポジティブをすすめるべく、持続可能な大阪の創造のために30by30や自然共生サイトの果たす役割について学びます。

11月19日(日) 10:00~12:30 / 登壇者：夏原由博氏(大阪自然環境保全協会会長)他 / 主催：公益社団法人大阪自然環境保全協会 / 共催：日本自然保護協会、WWFジャパン、日本野鳥の会、日本野鳥の会大阪支部、NPO法人AMネット、NPO地域づくり工房

講演会

<第1部> 野外識別の草分け、榎本佳樹をめぐる人々 <榎本佳樹生誕150年記念事業>

日本野鳥の会大阪支部創設期に野鳥指導員として活躍され、我が国最初のフィールドガイドである「野鳥便覧」上下巻を執筆(発行大阪支部)された榎本佳樹氏の生誕150年を記念しその業績とともに、交友関係にも焦点をあて、当時の野鳥の会の様子や野鳥保護への取り組みなどを紹介します。

11月19日(日) 13:00~14:15 / 講師：納家 仁氏(日本野鳥の会大阪支部支部長)

<第2部> どうしたもんじゃ こん鳥は

<四国西部のヤイロチョウ生息地におけるサンジャク対策の現状と課題>

2023年6月~7月に高知県四万十町ヤイロチョウの森周辺で行ったサンジャク生息調査の結果などをもとにヤイロチョウの保護やサンジャク対策の現状や課題を話し合います。

11月19日(日) 14:30~16:30 / 講師：中村浩男氏(生態系トラスト協会会長)、高尾和伸氏(生態系トラスト協会常勤理事)、納家 仁氏(日本野鳥の会大阪支部支部長 サンジャク生息調査実施)他

主催：日本野鳥の会大阪支部、生態系トラスト協会、中西悟堂協会

出展団体

一般社団法人ICERCJapan(アイサーチャー・ジャパン)、芥川倶楽部&あくびあ、アトリエリジッタ、あらしやまねこ、育英高等学校科学部、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、芋活.com、うみハマ~深い海にハマる~、大阪海さくら、大阪公立大学恐竜愛好会、ジェラシックパー君、大阪市環境局×大阪市エコボランティア、公益社団法人大阪自然環境保全協会、海鳥観察会連絡会、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪市立自然史博物館友の会、大阪石友会、大阪大学比較行動学研究室、大阪府、大阪変形菌おっかけ隊、公益財団法人大阪みどりのトラスト協会、大阪湾海岸生物研究会、オープン座せサミ、おタネもち、乙田休耕田クラブ、お拾いもの、御菓子司津村屋、NPO法人海浜の自然環境を守る会、榎原市昆虫館・榎原市昆虫館友の会、かすみそう、関西自然保護機構(KONC)、関西バードカービングクラブ、きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会、きのこ好きのためのキノコサロン、協栄産業株式会社、NPO法人共生の森、きょうと生物多様性センター、Kinkadesign、きんぎ環境館、近畿地学会、近大ホネホネ(株)アクアテイメント、ぎんべーのしっぽ、九頭竜化石研究会、くまぼろ造形雑貨店、株式会社ケンコー・トキナー、港南造形高校動物研究同好会、興和オプトロニクス株式会社、SCIENTIFIC IDEA、さえずり本舗、堺自然観察会、堺自然ふれあいの森、さちこの生き物雑貨、サポートスタッフ卒業生子どもワークショップ、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ジュニア自然史クラブ、知床ウトロ海域環境保全協議会、一般社団法人知床羅白町観光協会、NPO法人すいた市民環境会議、吹田ヒメボタルの会、STUDIO SAIZU、Segasworks、全国カヤネズミ・ネットワーク、Terminal Legs 季刊奇轟、社団法人臺北市野鳥學會(臺灣)、谷口高司鳥絵工房、丹波市立丹波電化石工房「ちーたんの館」、TEAM魚つよい、地学団体研究会大阪支部、鳥類標識調査グループ、関西、鶴見緑地カワセミの会、一般社団法人てこぼこ、てんとうむしのみせ「punctata」、友の会読書サークルBOOKS、鳥と旅するまち 小清水町、なにわホネホネ団、奈良教育大学自然環境教育センター、錦織公園フォレスト、西日本自然史系博物館ネットワーク、西宮市貝類館、ニツチェ・ライブ、特定非営利活動法人日本チョウ類保全協会、日本バードカービング協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会大阪支部、日本野鳥の会京都支部、根室市観光協会、寝屋川市自然を学ぶ会、野里小生生涯学習ルーム、NOTARI、BRDCREATE、パンヴィレレッジ、pao na miu、HakuiKeiko、ハクハ写真産業株式会社、鈴ヶ峯の自然を守る会、葉つぼ案内所、はねはね団、浜寺公園自然の会、株式会社パレオ・ラボ、PIZZA ROTOLO、兵庫県立尼崎の森中央緑地パークセンター、兵庫県立淡路景観園芸学校(兵庫県立大学淡路キャンパス)、piyopyobrand&木象散こほみつ亭、枚岡公園、枚方いきもの調査会、びわこベース、フグーズ、PuPuPu Petit a Petit、プレコ暮らし、育好き中学校教員の会、Malthe/マルス、瑞玉-mizutama-、みつばちの巣、蜜林堂、認定NPO法人緑の地球ネットワーク、南大阪昆虫同好会、真面目昆虫館、むいむいのお時間、森の工房ぼんどり、野鳥生活、淀川水系イタセンバ保全市民ネットワーク、ようふうたのしもうたがくの会、本立紙切辻笙(50首順)

ご来場の皆様へのお願い

発熱や風邪の症状がある場合は、ご来場をお控えください